



美ら島沖縄

10 OCTOBER
2022.
vol. 565

～ちゅらしまおきなわ～

特集 10月は里親月間です。

読者
プレゼント

抽選で10名様に

詳細はP15を
チェック!





復帰 50 周年記念事業

～沖縄の発展のあゆみや将来の可能性、見て、知って、考える機会としよう～



「10th沖縄大交易会2022」開催！

沖縄県は東アジアの中心に位置する地理的優位性を活かし、国際物流貨物ネットワーク（沖縄国際物流ハブ）の構築・拡大を目指しています。

「沖縄大交易会」は、このネットワークを活用し、県産品や全国特産品等の海外販路拡大につなげていくことを目的に開催する日本最大級の「食」の国際商談会です。

本土復帰50年及び沖縄大交易会10周年の節目となる今年は、従来の商談会に加え、県民や観光客の皆様に向けた全国特産品の展示即売会や様々なイベントを開催します。



6th沖縄大交易会2018(2018年11月29日)

開催日・開催場所

ハイブリッド開催します！

今年の沖縄大交易会も、ウィズコロナ・アフターコロナを見据え「リアル商談会」と「オンライン商談会」を掛け合わせたハイブリッド型の商談会を開催します。申し込み、詳細はホームページをご確認ください。

リアル商談会 11月24日(木)～25日(金)

@沖縄コンベンションセンター
(宜野湾市真志喜4-3-1)

オンライン商談会 8月1日(月)～12月23日(金)



HP

1日限定！県産品・全国特産品の展示即売会

全国各地の「食」に関連する商品の購入や、首里城復興祈念イベント等への参加ができる絶好のチャンスです。県民の皆様、観光客の皆様、ぜひご来場下さい！

展示即売会 11月26日(土) 10:00～17:00

@沖縄コンベンションセンター

問合せ

沖縄大交易会実行委員会事務局
(沖縄県産業振興公社) 電話:098-851-7463

地域のみなさんが主役「うちなー地域づくりフェスタ」

本土復帰50年を迎える節目となる年に、地域の魅力の発信や、地域住民、企業等が主体的に地域づくりに参加するきっかけ作り、今後の地域のあり方を考える機会とすることを目的に「うちなー地域づくりフェスタ」を開催します。

開催日時 11月6日(日) 13:00～16:00(開場12:00～)

@県立博物館・美術館 講堂
(那覇市おもろまち3-1-1)



復帰40年記念時のうちなー地域づくり大賞授賞式(2012年11月4日)

うちなー地域づくり大賞授賞式

地域への貢献度が高い創意工夫した地道な地域づくり活動を通して、地域の活性化に取り組んだ団体の功績を表彰します。

シンポジウム

地域づくりに関して自治体、住民、企業や地域づくり団体等の役割、連携と協働などについて、専門家による基調講演、パネルディスカッションを実施します。

地域づくり事例集の発行、パネル展の実施

フェスタ当日は、地域づくり活動などを紹介する事例集の配布や、地域づくり団体を紹介するパネル展も実施します。

みなさんもフェスタに参加して地域づくりについて考えるきっかけにしてみませんか？

問合せ

地域・離島課
電話:098-866-2370 FAX: 098-866-2068



The 7th Worldwide Uchinanchu Festival
第7回 世界のウチナンチュ大会
2022.10.30 sun ▶ 11.3th



セルギー・コルスンスキー駐日ウクライナ特命全権大使が、玉城知事を表敬訪問しました。コルスンスキー大使は、沖縄県がウクライナからの避難民を受け入れていることに対して感謝の意を表しました。また、表敬訪問の前に避難民の方々と面談した際には、多くの方が沖縄での生活に満足しており、沖縄県に感謝していることを知事に説明しました。

その後、玉城知事と大使はウクライナから沖縄への負傷者の受け入れや、国際情勢



等について意見交換を行いました。

8/5 表敬 駐日ウクライナ大使
セルギー・コルスンスキー氏

今年1月にハワイ沖縄連合会の会長に就任したデービッド・ジョーンズ氏が、玉城知事を表敬訪問しました。ジョーンズ会長は9歳まで北中城村で育ち、第4回世界のウチナーンチュ大会に参加したことでウチナーアイデンティティに目覚め、エイサー太鼓や県人会活動に積極的に関わるようになりました。

ジョーンズ会長は、「ハワイと沖縄の交流や会員間の交流を再び強固にし、将来へつなげていきたい。ハワイの



皆さんが、今年の10月30日から開催されるウチナーンチュ大会を心待ちにしている。」と玉城知事へ伝えました。

8/5 表敬 ハワイ沖縄連合会会長
デービッド・ジョーンズ氏

公益財団法人沖縄県畜産振興公社ほか畜産関係団体から、「沖縄子どもの未来県民会議」（会長玉城知事）への県産の畜産食品の寄付贈呈式を行いました。

今回寄贈された県産畜産食品は、県内各地域に設置された子ども食堂等へ提供されました。

玉城知事は、寄贈に対しお礼を伝えるとともに、「県産畜産食品を寄贈いただいたことは、厳しい環境に置かれた子どもやご家庭を支える大きな力となる。」と述べました。



8/18 子ども食堂への県産畜産物等の
寄附贈呈式

池田副知事は、日本郵便株式会社沖縄支社久田支社長から、特殊切手の贈呈を受けました。

世界遺産シリーズは、日本の世界遺産を題材として発行されており、第14集は、沖縄の登録地域に生息するヤンバルクイナやイリオモテヤマネコ等、奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島の固有で希少な動物がデザインされています。

池田副知事は、感謝の意を伝えるとともに、「沖縄の遺産対象地域は、希少な動物が



特殊切手シートデザイン

8/10 特殊切手「世界遺産シリーズ（第14集）
奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」贈呈

存在しているだけでなく、人と交流のある自然なので、環境を保全しながら持続可能な地域づくりにも努めていきたい」と述べました。

10 2022. OCTOBER 美ら島沖縄 vol. 565

- 02 復帰50周年記念事業
「10th沖縄大交易会2022」開催！
地域のみなさんが主役「うちなー地域づくりフェスタ」
- 03 県政フラッシュ
- 04 特集：10月は里親月間です。
- 06 沖縄あんなやたんかんやたん -1992年～1996年編-
- 08 おきなわ子ども未来ランチサポート
つながり、みんなで育もう！子どもたちの夢や希望を育む社会へ
- 09 県の動き 1（いよいよ首里城復元工事がはじまります！）
県の動き 2（沖縄らしい風景づくり）
- 10 あの作品のロケ地へGO！ 美ら島ロケ地めぐり【名護市】
- 11 県の動き3（第11回沖縄平和賞）
- 12 情報ひろば
- 14 県の動き4（暴力・発言・ハラスメント「ゼロ元年」の取組）
- 15 読者プレゼント・読者の声

沖縄の人口・世帯の動き 令和4年8月1日現在

146万8,492人 総人口 ※前月比64人の増加

63万1,201世帯 世帯数 ※前月比650の増加

沖縄県庁広報課 公式LINE @okinawa-government

沖縄県庁広報課 公式ツイッター @okinawa_pref

本号の電子Book版とバックナンバーはホームページでご覧いただけます。

美ら島沖縄 検索

美ら島沖縄の設置場所
県内コンビニ、モノレール各駅等で無料配布しています。また、公共機関や銀行、病院など多くの方々が利用する施設でもご覧いただけます。新規設置施設も受付致しておりますので、関心のある方は広報課までご連絡ください。なお、全世帯向けの個別配布は致しかねます。ご了承ください。

今月の表紙

「沖縄の伝統芸能」
山里 美紀子

組踊や琉球舞踊など、世界に誇れる沖縄の伝統芸能を表現しました。演者たちの生き生きとした姿をイメージしています。華やかで力強く、見るものを感動させ圧倒する芸能を描きました。

10月は里親月間です。

子どもたちに温かな家庭を

近年、家庭や子どもをとりまく環境は大きく変化しており、虐待や親の病気など様々な理由で家族と一緒に暮らすことができない子どもたちがいます。

このような子どもたちを、豊かな愛情と正しい理解をもった家庭に迎え入れて養育する制度が「里親制度」です。

県では、令和元年度に策定した、「沖縄県社会的養育推進計画」において子どもたちがより家庭的な養育環境で成長できるように、里親委託率(※)を現在の33.9%から令和11年までに40.0%とすることを目指しています。

※里親委託率 様々な理由で家族と一緒に暮らすことができずに施設や里親等の下で暮らしている子どものうち、里親等の下で生活している子どもの割合を表す指標です。

里親月間とは

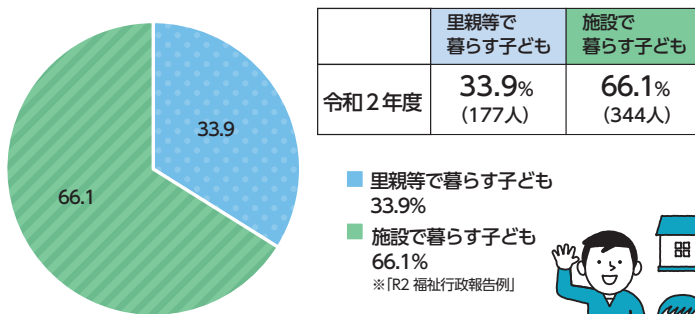
昭和23年10月4日に、国から里親制度の運営についての通告が出されたことに由来して、10月4日が「里親デー」と決められています。

その日が含まれる毎年10月を、厚生労働省が「里親月間」と称して、里親制度を推進するための集中的な啓発活動を実施しており、全国各地でも様々な活動が行われています。

県では市町村等と協働で里親月間に関するパネル展を県内各地で実施しています。

【沖縄県】

家族と暮らせない子どもの里親委託と施設措置の割合



里親の種類とよくある質問にお答えします。

里親の種類

養育里親

家族と暮らせない子どもを一定期間、自身の家庭に受け入れて育てる里親。

養子縁組里親

養子縁組によって子どもを養子にすることを前提として育てる里親。

専門里親

虐待や障害等により専門的ケアを必要とする子どもを育てる里親。

親族里親

両親が死亡する等して育てられなくなった子どもを親族で育てる里親。

よくある質問Q&A

Q1 里親になるために特別な資格はありますか？

A1 子どもの養育について理解・熱意・愛情をもって、「健康的で明るい家庭」を営める方なら、ごなたでも申し込めます。

Q2 子育て経験がなくても里親になれますか？

A2 なれます。研修と実習を受け、里親としての準備をします。



Q3 養育に困った時はどうすればいいですか？

A3 養育はチームで行います。日々の養育は里親さんが担いますが、悩みを抱え込むのではなく、児童相談所や支援機関が訪問や電話でサポートします。

Q4 どれくらいの期間養育するのですか？

A4 里親の種類によっても様々ですが基本的には、子どもが実親さんと一緒に暮らせるようになるまでの期間です。

Q5 預かった子どもを養子にできますか？

A5 実親が今後、子どもを養育していく見込みがない場合、実親が既に死亡している場合や実親が子どもと里親との養子縁組を了解している場合など、養子縁組が可能な場合もあります。なお、養子縁組をする際には、家庭裁判所の審判による決定が必要です。

Q6 すぐに子どもを預かることはできますか？

A6 里親になってもすぐに子どもを預かるというわけではありません。里親委託が適切と児童相談所が判断した子どもについて、児童相談所と里親の話し合い、児童との事前交流や関係調整を十分に行った上で委託が決定されます。

Q7 子どもの養育費は負担するのでしょうか？

A7 子どもの養育費は生活費、学校教育費、進学支度費、医療費などの養育費が毎月公費で支給されます。

里親を支援する人や機関

◎ 児童相談所

里親担当の児童福祉司や里親と子ども
のマッチングをする里親等委託調整
員、訪問支援や相談を行う里親対応専
門員がいます。

◎ 里親支援専門相談員

県内7カ所の施設に里親支援専門相談
員を配置し、定期的な家庭訪問等を行
い、里親の相談を受けています。

◎ こころサポート事業（県内5カ所）

県内の4施設と1団体（美さと児童園・
石嶺児童園・愛隣園・島添の丘・里親会）
に療育支援コーディネーターと心理士
を配置し、里親や委託された子ども等
の相談を受けています。また、医療の専
門的な支援が必要な場合は専門医の助
言も受けることができます。

◎ 児童家庭支援センター（県内2カ所）

県内に2カ所（児童家庭支援センター
なごみ、児童家庭支援センターはりみ
ず）設置され、地域の里親及びファミ
リーホーム等からの相談を受け、必要
な支援を行っています。

◎ 里親支援よしみず

短期（主に乳幼児）から活動できる里親
のリクルートや研修、実践トレーニン
グ、児童との事前交流や委託解除後の
アフターフォロー等も行っていきます。

◎ 一般社団法人沖縄県里親会

里親からの相談以外にも、里親を孤立
させないために里親同士の相互交流
（里親サロン）や研修会の実施、委託さ
れた子ども同士の交流会なども行って
います。

里親を募集しています。

県では「里親リクルート・トレーニン
グ事業」※を行っています。主に0〜5
歳の子どもの短期間（数日〜数ヶ月程
度）、ご自宅で養育してくださる次のよ
うな方を募集しています。また、研修や
実践トレーニング、児童との事前交流や
委託解除後のアフターフォロー等も
行っています。
※委託先：社会福祉法人袋中園「里親支
援よしみず」

- 一時保護中の養育など数日から数ヶ
月の短期間なら養育出来るという方
- 子が成長し手がからなくなつたため、
乳幼児の養育に協力したいという方

里親になるまでの主な流れ

1 相談

児童相談所や里親支援よしみず
に相談し、説明を受けます。

2 申し込み

里親を希望する方は、児童相談
所で申し込みを行います

3 研修・ 家庭訪問

数日間の研修で、制度や子ども
の権利擁護について学び、乳児
院等で実習も行います。

4 登録

県の審査を経て、適当と認めら
れた方は里親登録となります。

5 里親委託

児童相談所等からの連絡・面会・
交流等を経て、子どもとの生活
がスタートします。



「養育里親」を 知っていますか？

沖縄県で育つ子どもたちが、生まれた地域を離れることなく
家庭の中で成長していく、そんなあたりまえの未来を目指しています。



社会福祉法人 袋中園 里親支援よしみず 沖縄県糸満市袋中567番地
【お問い合わせ】 ☎098-994-5134 (9:00~17:00)
✉ nishinichi@tachuen.or.jp
HP: <http://www.tachuen.or.jp/nishinichi> さいふ9224、登録

問合せ先(電話番号)

短期（または乳幼児）の養育里親に興味ある方は、里
親支援よしみず、その他の里親に興味のある方は、お
近くの各児童相談所が窓口となります。

- ・社会福祉法人袋中園
里親支援よしみず:098-994-5134
- ・沖縄県 中央児童相談所:098-886-2900
コザ児童相談所:098-937-0859

問い合わせ

青少年・子ども家庭課 電話:098-866-2174 FAX:098-868-2402

帰郷を返る
50年を
沖縄を振り

沖縄あんやたん かんやたん



1992年～1996年編

2022年5月15日で沖縄が本土復帰して50年。復帰からの50年を毎年5年ごとに振り返り、主なニュースや出来事と共に紹介。その当時を知らない人は学びながら、その当時を知る人は「あんやたん、かんやたん(ああだった、こうだった)」と懐かしみながらその時代を振り返ってみましょう！

協力：沖縄県立芸術大学芸術文化研究所 共同研究員 仲村 颯

本土復帰20年！ 発展と成長で 新たな沖縄を目指す

1992年から1996年の5年間に、沖縄を代表するさまざまな建造物が完成しました。沖縄が日本に復帰して20年目の1992年には首里城の一部が復元、戦後50年目の1995年には平和祈念公園の「平和の礎」が除幕されました。さらに1993年には、琉球王国時代の沖縄を舞台にしたNHK大河ドラマ「琉球の風」が放送され、ロケ地となった首里城などが人気観光地に。観光客増加の一端を担い、「観光立県」沖縄に大きく寄与しました。

一方、基地問題を問う、全国で初の県民投票が実施されたのもこの5年の間でした。基地の整理・縮小や地位協定の見直しを求める声は、今日でも続いています。



首里城復元と同時期に、識名園や玉陵(たまうどうん)、崇元寺石門が那覇市に寄贈されました。



本土復帰20周年記念事業で復元が進められた「首里城正殿」 提供：時事通信社

47年ぶりに蘇った 壮麗な首里城の姿

沖縄の本土復帰記念事業として1984年から整備の構想が始まり、工事が進められていた首里城公園ですが1992年にその一部が完成し、11月2日開園記念式典が催されました。正殿や北殿、南殿、番所など主要な施設が復元され、沖縄戦での消失以来、47年ぶりに壮麗な姿が蘇りました。

復帰20年に首里城復元

ここがポイント

復元された首里城は、2019年10月の火災で正殿を含む多くの施設が焼失しました。現在、正殿は2026年の完成を目指し、新たな復元工事が進められています。



The 7th Worldwide Uchinanchu Festival
第7回 世界のウチナーンチュ大会
2022.10.30 sun ▶ 11.3 thu



1992年～1996年 その他主な出来事

1992年

- 西表島で群発地震が発生。10月14～20日の7日間で震度5以上の地震が5回も観測
- 宮古島～池間島間を結ぶ池間大橋が開通。(当時では県内最長の1,425m)

1993年

- 第44回全国植樹祭で天皇皇后両陛下が初来沖
- 宮古・八重山地方で民放テレビ放映開始

1994年

- 真喜志慶治選手が嘉納杯国際柔道大会で初優勝
- 私立名城大学が開学

1995年

- 宮古島～来間島間を結ぶ来間大橋が開通。池間大橋を抜いて県内最長(1,690m)の橋となった
- 沖縄県公文書館が開館

1996年

- 沖縄都市モノレール着工
- 日米両政府が普天間飛行場の全面返還に合意

観光客増加の呼び水 首里城が人気観光地に

NHK大河ドラマ 「琉球の風」が全国放送

初めて沖縄を舞台にしたNHK大河ドラマ「琉球の風」が全国放送されました。復元されたばかりの首里城などがロケ地となったことが大きなPR効果となり、観光客の増加に貢献しました。

県民の琉球史への関心を呼び、琉球史に関する出版がブームになりました。



NHK大河ドラマ「琉球の風」撮影風景
提供：那覇市歴史博物館



1995年



平和の礎が除幕

恒久平和を求めて 戦後50年の記念事業 平和の礎が除幕

慰霊の日の6月23日、糸満市摩文仁の平和祈念公園で「平和の礎」が除幕されました。国籍問わず犠牲となった沖縄戦没者20万人以上の人々の氏名を刻んだモニュメントは、今も恒久平和を求め続けています。

米軍基地への民意が 初めて明らかに 基地問題で 全国初の県民投票

1995年に起きた沖縄米兵少女暴行事件をきっかけに、米軍基地の整理・縮小などについて賛否を問う全国初の県民投票が実施。賛成票が過半数を超え、民意が明らかになりました。



全国初の県民投票 提供：沖縄タイムス社



ここがポイント

2019年には二度目となる県民投票がありました。この時は米軍基地建設のために行われる名護市辺野古の埋め立て是非を問うもので、投票率は52.8%、反対が72.2%と過半数を超えました。

1996年

島の未来を担う、次世代の「ものづくり」

琥珀果(こはくか)

華やかな見た目の中に濃厚な風味と豊かな甘みを、わずか1.5cm辺の四角形に凝縮した「琥珀果」は、やんばるで育てられたパインやマンゴーなどのフルーツのピューレをたっぷり使った新感覚のゼリー菓子。開発者の麻生さんは、自らやんばるの農家に掛け合い、規格外の果物を適正価格で購

入して材料として使用することで農家さんにも貢献しています。果実さながらの味わいから、アイスクリームやケーキのトッピングにしたり、ポークソテーのソースに加えたりと、さまざまな料理のアレンジにも応用できるのも「琥珀果」の大きな魅力です。



【問い合わせ】
合同会社OTW
<https://otw.site/>



HP

